

(一社)福島市私立幼稚園協会 教育研究部会 第3回合同研修会

日時 : 令和7年11月5日(水) 15:30~17:00

タイトル : テノール歌手園部諒人 ミニコンサートとワークショップ

講師 : テノール歌手園部諒人 ピアニスト市村菜々美

会場 : 認定こども園福島愛隣幼稚園



《第3回全体会に参加して～アンケートから～》

【1 感想】

①音楽体験の喜び

- 本格的な歌声とピアノ演奏を間近で聴くことで、子どもも大人も楽しさや癒しを感じられた。
- 生演奏は非日常的で貴重な体験となり、保育者自身のリフレッシュにもつながった。

②子どもたちの反応

- ペープサートやスケッチブックシアターなど視覚的要素を取り入れることで、子どもたちがより集中し、音楽を楽しんでいた。
- 優しい歌声や語りかけが、子どもたちの安心感と楽しさを引き出していた。

③学びの要素

- 呼吸法や発声法を体験することで、歌の持つ力や表現力の大切さを再認識。
- 「鼻から吸う呼吸法」など新しい挑戦に難しさを感じつつも、学びの機会となった。

【2 今後の保育に活かせること】

①呼吸法・発声法の活用

- 腹式呼吸や「鼻から吸って口から出す」呼吸法を意識し、子どもたちと歌う際に取り入れる。
- 喉を痛めない声の出し方を学び、保育者自身の健康管理にも役立てる。

②歌の表現力を伝える

- 豊かな表現を意識して歌うことで、子どもたちに歌の楽しさや力を伝える。
- 歌を通して「歌が好きな子ども」を育てる保育につなげたい。

③ 保育現場での実践

- 日常の保育活動に呼吸法や発声の工夫を取り入れ、子どもたちと一緒に楽しみながら歌う。
- 職員自身も発声練習を継続し、保育の質を高める。

【3. その他研修について】

①音楽研修の意義

- 音楽に触れる研修は保育者にとってリフレッシュの機会となり、心身の癒しにつながる。
- 座学だけでなく、体験型の研修が保育者のモチベーションを高める。

②今後の希望

- 絵本の読み聞かせにおける声の出し方や、リズム遊び・音楽表現に関する研修もあると、日常保育により直結して活かせる。
- 研修の時期や間隔については、適度な間隔で実施されるとより参加しやすい。

③ 講師への感謝

- テノール歌手やピアニストによる生演奏は貴重で、参加者に大きな感動を与えた。
- 今後もこのような機会を継続していただきたいという声が多い。